



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 ホシデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室担当 (氏名) 本保 信二

TEL 072-993-1010

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	199,121	15.0	9,308	12.5	11,240	1.4	8,572	13.9
30年3月期第3四半期	234,299	149.6	10,643		11,395	584.2	9,961	469.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 7,232百万円 (33.1%) 30年3月期第3四半期 10,817百万円 (524.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	144.17	134.69
30年3月期第3四半期	167.53	162.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	136,042	92,738	68.2
30年3月期	138,192	86,992	63.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 92,738百万円 30年3月期 86,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		5.00		15.00	20.00
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

31年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当5円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	21.5	10,000	23.3	10,000	5.2	7,500	26.7	126.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル106円を前提としております。

業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「営業外収益(為替差益)の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	67,710,084 株	30年3月期	67,710,084 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	8,251,920 株	30年3月期	8,251,552 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	59,458,367 株	30年3月期3Q	59,459,315 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 予想数値の修正に関する事項は、本日(平成31年2月8日)公表の「営業外収益(為替差益)の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- (2) 本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	8
セグメント別販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月～平成30年12月)の世界経済は、米国では雇用環境の改善や個人消費の増加を背景に景気は緩やかな回復を継続しておりますが、欧州においては、製造業を中心に景気の減速傾向がみられます。中国では米中貿易摩擦の影響を受け、個人消費の減速、投資の抑制がみられ、景気は減速傾向です。日本経済につきましては、内需が底堅く、景気は緩やかに回復しております。当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連向けは電子化を背景に堅調に推移しておりますが、スマートフォン市場向けについては、減速傾向が顕著になってきております。

このような状況の下で、当社グループでは、機械化等による生産性向上及び固定費の削減など、原価対策に努めましたが、上記市場動向の影響を受けた移動体通信関連向けをはじめ、アミューズメント関連向け、自動車関連向けも売上が前年同期と比べて減少し、利益も減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,991億21百万円(前年同期比15.0%減)、営業利益は93億8百万円(前年同期比12.5%減)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差益(17億31百万円)を計上し、112億40百万円(前年同期比1.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億72百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの売上高の状況は次のとおりであります。

機構部品につきましては、アミューズメント関連向け、移動体通信関連向けが減少したことにより、1,740億56百万円(前年同期比17.3%減)となりました。

音響部品につきましては、自動車関連向け、移動体通信関連向けが増加したことにより、136億37百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが減少したことにより、67億53百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが増加したことにより、46億74百万円(前年同期比67.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、売上債権が増加したものの、たな卸資産の減少等により前連結会計年度末比21億50百万円減の1,360億42百万円となりました。又、負債につきましては、仕入債務、短期借入金の減少等により前連結会計年度末比78億96百万円減の433億3百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比57億45百万円増の927億38百万円となり、自己資本比率は68.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比33億80百万円増の557億86百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、113億7百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益114億87百万円、売上債権の増加52億18百万円、たな卸資産の減少105億80百万円、仕入債務の減少69億66百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、40億46百万円となりました。これは主に、定期預金の増加10億65百万円、有形固定資産の取得による支出29億78百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、37億48百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少22億53百万円、配当金の支払14億86百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「営業外収益(為替差益)の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今回の業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル106円を前提としております。

また、当期の期末配当金につきましては、配当予想の修正を行っており、これにつきましては、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,087	47,806
受取手形及び売掛金	30,494	35,960
有価証券	8,100	10,101
商品及び製品	7,302	8,523
仕掛品	2,099	2,002
原材料及び貯蔵品	19,468	8,368
その他	4,751	3,407
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	117,279	116,145
固定資産		
有形固定資産	13,998	14,139
無形固定資産	339	348
投資その他の資産		
投資有価証券	5,170	3,957
その他	1,758	1,860
貸倒引当金	△353	△410
投資その他の資産合計	6,575	5,408
固定資産合計	20,913	19,896
資産合計	138,192	136,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,390	18,572
短期借入金	5,064	2,686
未払法人税等	1,320	1,499
その他	4,607	3,794
流動負債合計	35,383	26,552
固定負債		
新株予約権付社債	10,137	10,121
退職給付に係る負債	4,481	4,566
その他	1,197	2,062
固定負債合計	15,816	16,750
負債合計	51,199	43,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,596
利益剰余金	60,658	67,744
自己株式	△7,750	△7,750
株主資本合計	86,165	93,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,298	1,649
為替換算調整勘定	△1,703	△2,336
退職給付に係る調整累計額	233	175
その他の包括利益累計額合計	827	△512
純資産合計	86,992	92,738
負債純資産合計	138,192	136,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	234,299	199,121
売上原価	215,217	181,731
売上総利益	19,082	17,390
販売費及び一般管理費	8,438	8,082
営業利益	10,643	9,308
営業外収益		
受取利息	65	119
受取配当金	75	92
為替差益	663	1,731
その他	91	95
営業外収益合計	895	2,039
営業外費用		
支払利息	101	94
社債発行費	29	—
その他	13	12
営業外費用合計	144	107
経常利益	11,395	11,240
特別利益		
固定資産売却益	4	5
子会社清算益	—	240
その他	0	4
特別利益合計	4	249
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
投資有価証券売却損	0	—
その他	0	—
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	11,397	11,487
法人税、住民税及び事業税	1,441	1,802
法人税等調整額	△6	1,113
法人税等合計	1,435	2,915
四半期純利益	9,961	8,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,961	8,572

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	9,961	8,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	382	△648
為替換算調整勘定	511	△632
退職給付に係る調整額	△38	△58
その他の包括利益合計	856	△1,339
四半期包括利益	10,817	7,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,817	7,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,397	11,487
減価償却費	2,511	2,336
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,881	△5,218
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,966	10,580
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△661	203
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,964	△6,966
その他	162	687
小計	△6,473	13,110
利息及び配当金の受取額	135	186
利息の支払額	△99	△96
法人税等の支払額	△960	△1,928
法人税等の還付額	89	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,309	11,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△346	△1,065
有形固定資産の取得による支出	△4,692	△2,978
その他	170	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,868	△4,046
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△416	△2,253
新株予約権付社債の発行による収入	10,120	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△594	△1,486
その他	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,107	△3,748
現金及び現金同等物に係る換算差額	255	△132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,814	3,380
現金及び現金同等物の期首残高	45,457	52,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,643	55,786

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

セグメント別販売実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間	
	自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	
セグメントの名称	金額(百万円)	構成比
機構部品	174,056	87.5%
音響部品	13,637	6.8%
表示部品	6,753	3.4%
複合部品その他	4,674	2.3%
合計	199,121	100.0%